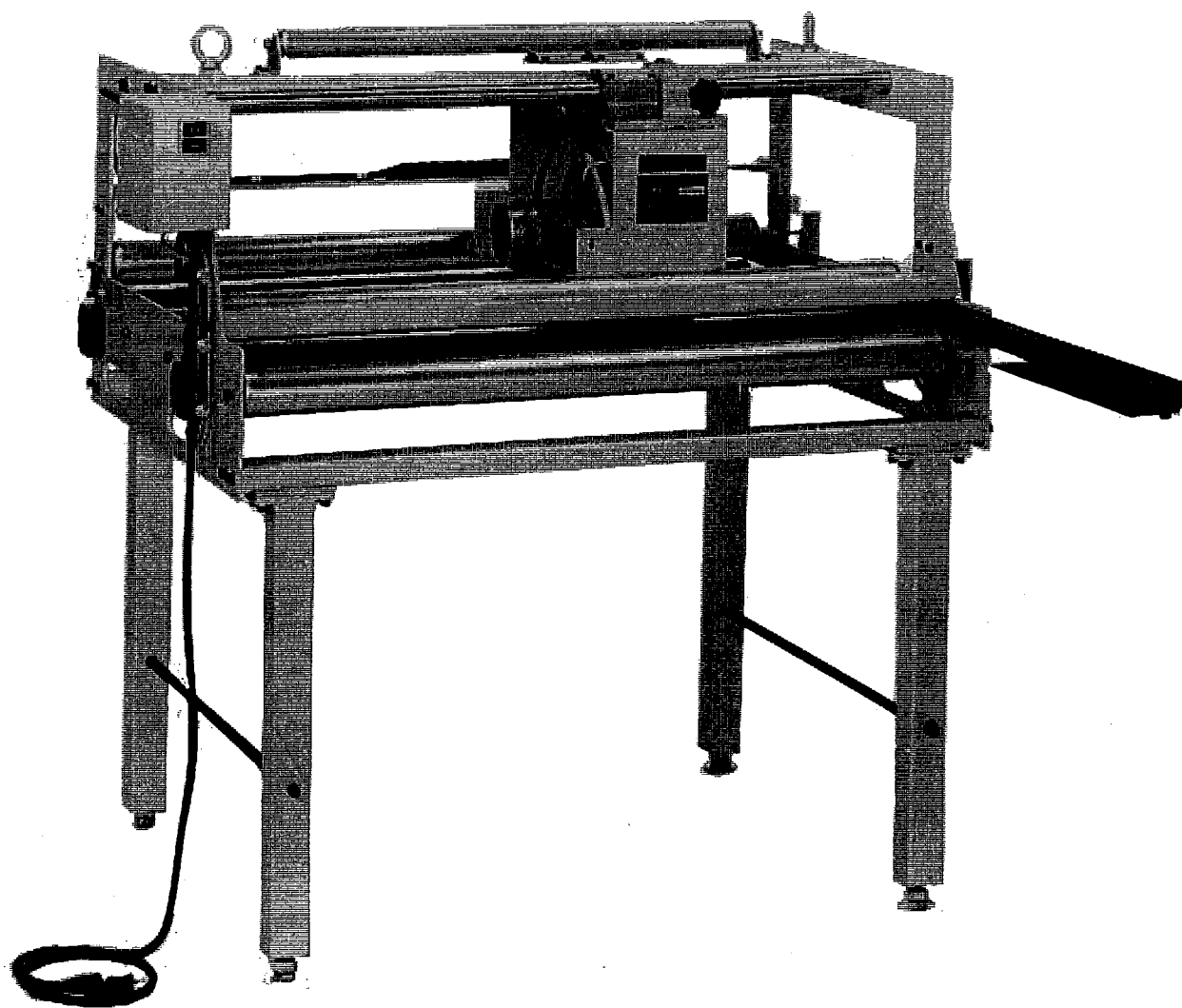


RYOBI®

自動パネル切断機

CW-901

取扱説明書



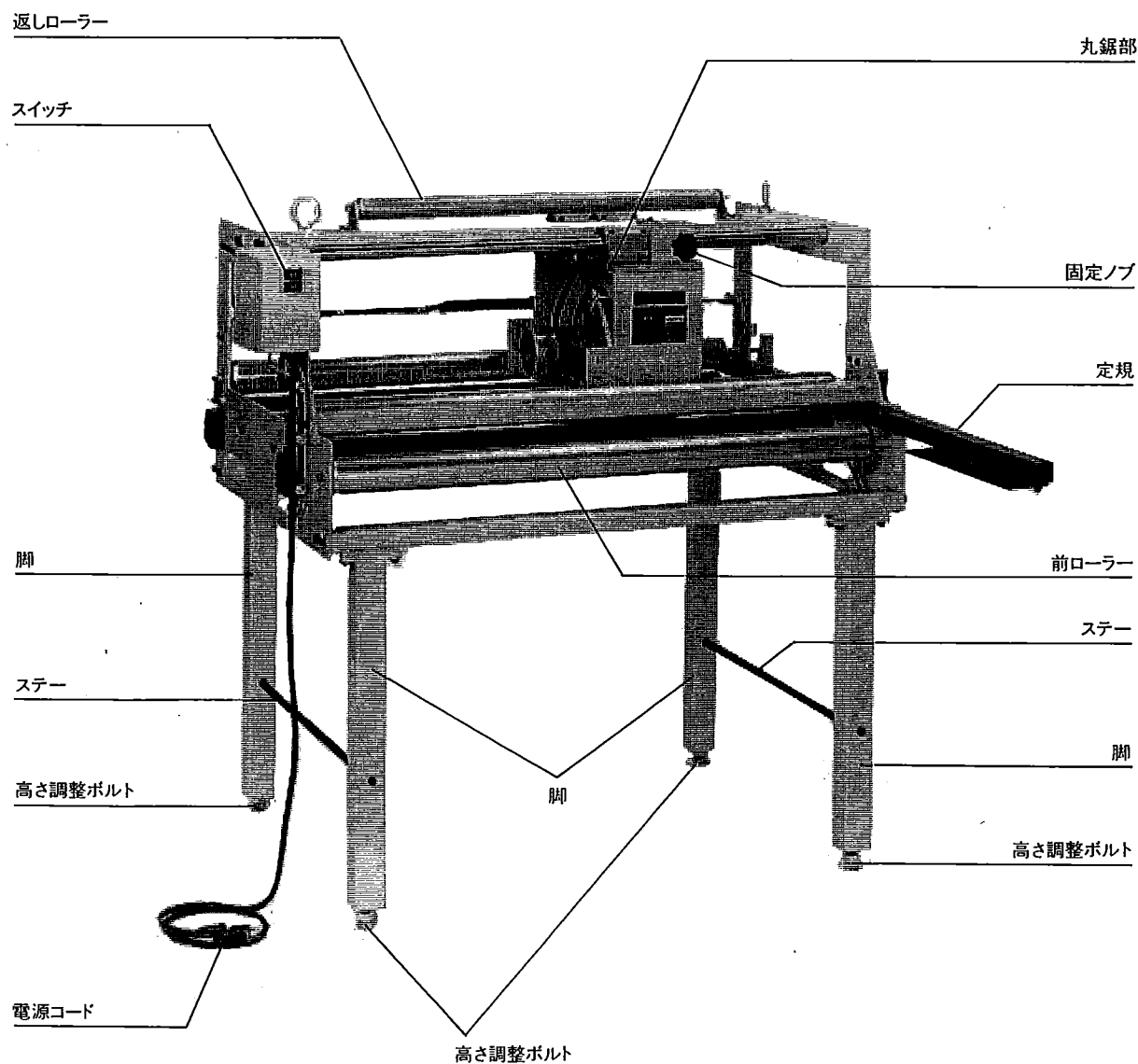
●改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

●ご使用に当たりましたの注意事項

本機を使用する前には、必ず取扱説明書を読み、指定された以外の用途には、お使いにならないで下さい。

- ・差し込みプラグを電源に接続する前に刃物及び各部品、ネジ類が説明書に従って正しく、しっかりと取り付けられているか確認して下さい。
 - ・刃物の取り付け、取り外しの際は十分に気をつけ、けがの無いようにしてください。
 - ・製品は大事に取り扱って下さい。誤ってぶついたりした場合は、異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
 - ・電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。
 - ・運転中は刃物、及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
 - ・能力を超えた作業は事故のもとです。刃物は常に良い切れ味にしておき、回転数をあげた後加工を始めて下さい。安全で能率良く、きれいな仕上げ面が得られます。
 - ・安全な作業をするためには、作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
 - ・湿った場所、濡れた場所での使用は避けて下さい。感電事故の元になり、モーター絶縁を低下させます。
 - ・被削材に釘などの異物がないことを確認して下さい。異物があれば刃物を破損することがあり危険です。
 - ・作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
 - ・作業時の服装は身軽なもので行って下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は、機械の可動部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ・調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後すぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
 - ・差し込みプラグを電源に差し込む前にスイッチが切れていることを確認し、使用後、及び停電の際には、差し込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
 - ・整備点検、部品交換の際は、必ずスイッチが切れていることを確認し、差し込みプラグを電源より外して下さい。
 - ・運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いたときには、直ちに使用を中止して下さい。
 - ・作業中は安全メガネをかけて目を保護して下さい。又、ホコリの多い作業にはマスクが必要です。
 - ・本機はお子様の手が届かないところに保管し、湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光の当たるところは避けて下さい。
 - ・安全で能率良く作業をしていただくためには、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。
- 点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービパワーツール取り扱い販売店、リョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

●各部の名称



●特長

- ・コンパクトなパネル（9～15mm）専用切断機です。
- ・電源は100Vですので現場への持ち込みに最適です。
- ・ローラーによる自動送りですので、正確な直線切断ができます。
- ・切断面も90°～45°に調整できます。
- ・切断材料を入れると自動的に丸鋸が回転し、切り終わると丸鋸が停止する安全かつ経済的な設計です。
- ・スライド部分にはベアリングを使用しているため、スムーズにスライドできます。
- ・送りモーターはローラーに内蔵されておりコンパクトな設計です。
- ・過負荷保護サーマル付で安全です。

●仕様

電 源		単相100V
モーター	丸鋸	1050W (DW-630AS使用)
	送り	28W × 2個
刃物回転数		4500rpm
刃物寸法		φ190×φ20×60p
鋸刃傾斜角度		45°～90°
送材能力	幅	960mm max
	厚	9～15mm
	長さ	500mm 以上
切断範囲		幅 35 ～ 865mm
送材速度		9(50Hz) 11(60Hz) m/分
機体寸法		1140×1300×1100mm (幅) (奥) (高)
ローラー部高さ		730mm
コード長		5m
重 量		120kg

●通常付属品

- | | | | |
|----------|-----|-----------|-----|
| ・六角レンチ | 4mm | ・ボックススパナ | 9mm |
| ・六角レンチ | 5mm | ・脚 | 4個 |
| ・六角レンチ | 6mm | ・脚取付ボルト | 16個 |
| ・定規 | 1個 | ・脚ステー | 2個 |
| ・定規取付ボルト | 3個 | ・ステー取付ボルト | 4個 |

●使用前の準備

- ・脚を取り付けします。

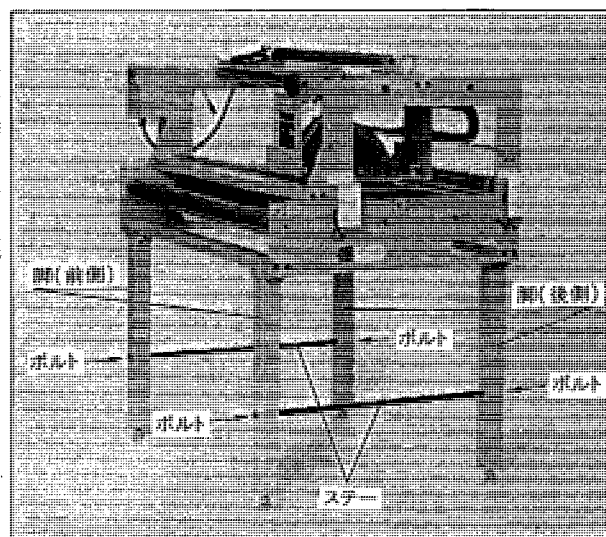
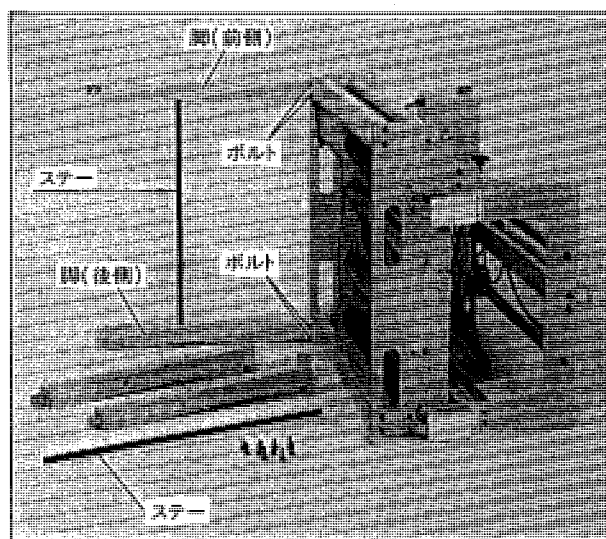
注) 丸鋸部が不意に左右に移動しないよう、固定ノブを締付して下さい。

本体を後方に倒して脚を取付けすると組付けが容易にできます。

下側(後側)の脚を取付けた後、脚の間に入るステーを通して、上側(前側)の脚を取り付けます。

六角レンチ 6mmにて、脚取付ボルト(各4本)を固定して下さい。

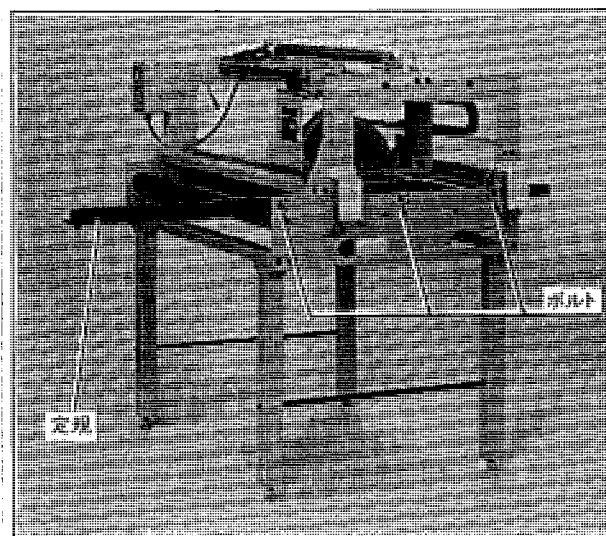
本体を起こした後、ステーをボルトで脚に固定して下さい。



- ・定規を取り付けします。

六角レンチ 6mmにて、ボルト3本を固定して下さい。

定規の角度は出荷時に調整してありますが、微調整する時には取付ボルト近くの六角穴付ネジで調整して下さい。



●使用方法

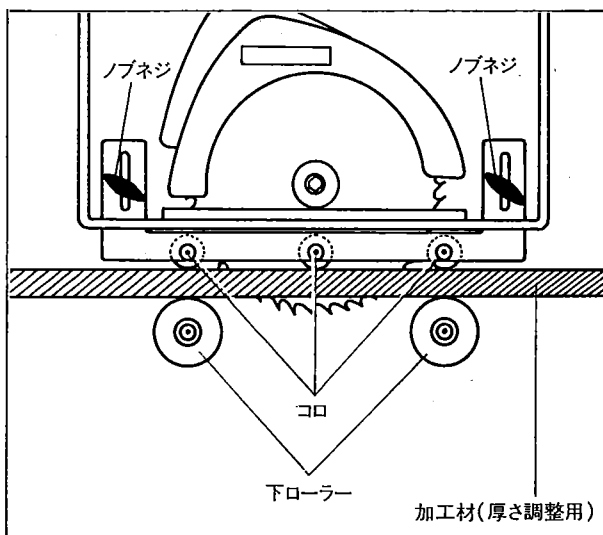
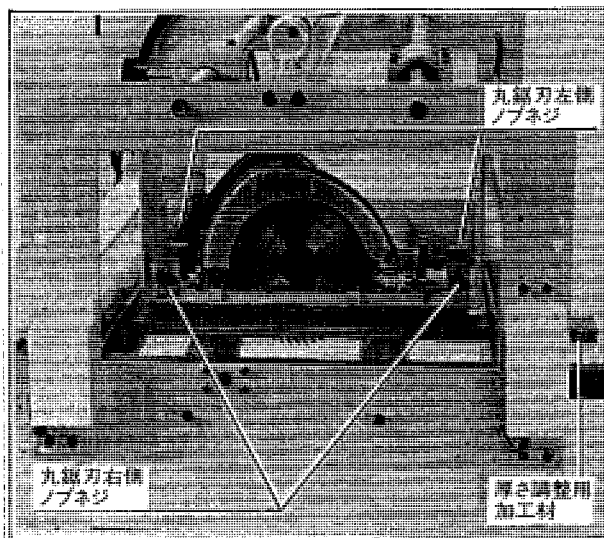
- 1) 切断材料の厚みに応じて、丸鋸部下のコロの高さを調整して下さい。

(出荷時は12mmに調整してあります)

調整方法

電源を抜いた状態で行なって下さい

- ・丸鋸部の前後左右のノブネジを緩めてコロを上げ下げして調整をします。
- ・はじめに丸鋸刃の右側(外側)の前後2ヶ所のノブネジを緩め、コロを上に向けて仮止めして下さい。
- ・切断する材料と同じ厚みの材料をローラー部に通して下さい。
このとき、丸鋸刃の側面に材料を密着させて下さい。
- ・前後のノブネジを緩めてコロを下げ、材料にあたる位置でノブネジを締めて固定します。
- ・同じ様に丸鋸刃の左側(モーターケース側)も材料を通した後、前後2ヶ所のノブネジを緩めて調整して下さい。



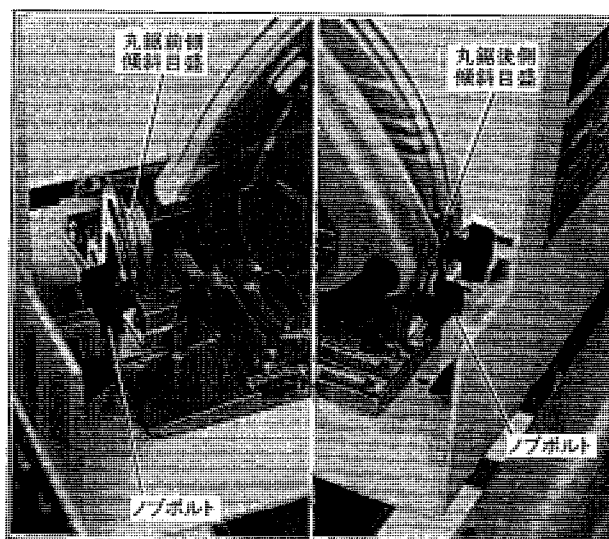
注意事項

このコロによる押さえがきついと送り不良となりますので注意して下さい。

また、押さえがゆるいと45度切断時に材料の跳ね返りにより、丸鋸刃が食いついたり、切断面に段が出る事があります。

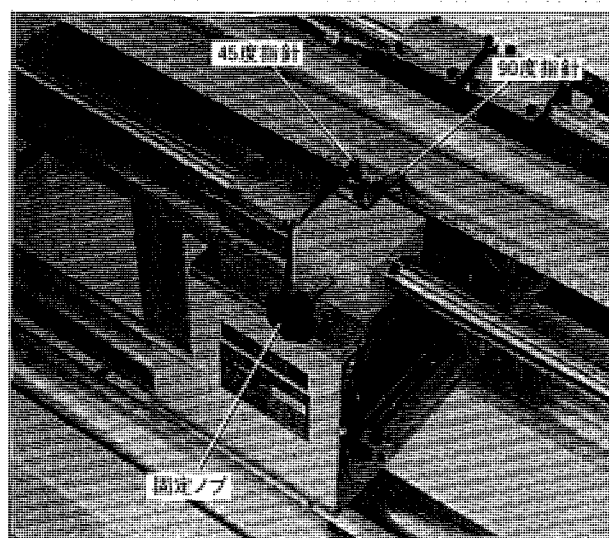
2) 切断角度を合わせて下さい。

- ・丸鋸部の定盤前後2ヶ所のノブネジを緩めて調整します。
- ・鋸刃は0～45度まで傾けて切断することができます。
- ・傾斜角度を決めたら、必ずノブネジを締め付けて固定して下さい。



3) 切断幅を合わせて下さい。

- ・左右スライド部の目盛りで、切断幅を合わせて下さい。
- ・目盛り指針は90度及び45度切断用の2つあります。
- ・固定ノブを緩めて、丸鋸部をスライドさせます。
- ・スライド後は、固定ノブを締め付けて下さい。



4) 電源を入れてスイッチをONにして下さい。

- ・送りローラーが回転します。

5) 切断材料を定規に密着させて水平を保ちながら前ローラー部に入れて下さい。

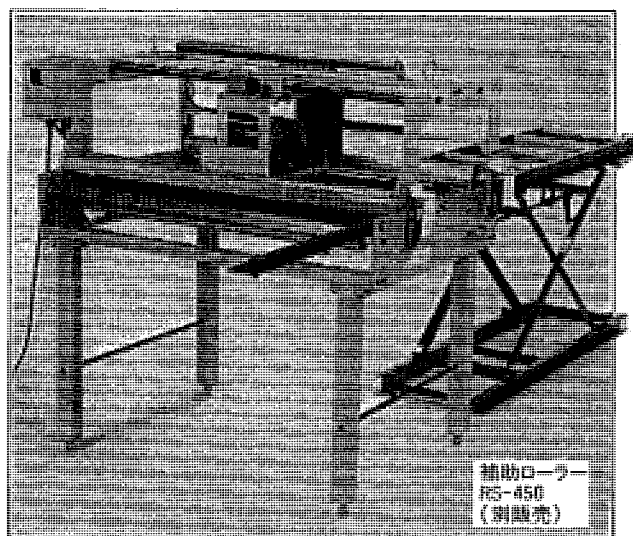
- ・送材が始まり丸鋸刃が回転します。
- ・切断材料にコンクリート等が付着している場合は、刃物を痛めますので、あらかじめ切断前にたたき落としておいて下さい。

注) 本体の後方で切断材料を支えて下さい。

- ・補助ローラーやテーブル等を使用すると大変便利です。

6) 切断が終了すると丸鋸刃が自動停止します。

- ・使用後はスイッチをOFFにして送りローラーを止めて下さい。



●注意事項

- ・丸鋸本体のスイッチはONの状態ロックしてご使用下さい。
- ・過負荷保護サーマルが作動すると本体の動作が停止します。その様な場合は切断途中の材料を取り除いた後、数分後にONスイッチを押して下さい。
ひんぱんに過負荷保護サーマルが作動する時は、丸鋸刃の切れ味を点検して下さい。
- ・切断材料は定規に密着させて下さい。
定規から離れた所で送材すると丸鋸刃が回転しない時があります。

●鋸刃の取付け・取外し ※詳しくは丸鋸本体の取扱説明書をご覧下さい。

万一の事故に備えて、必ず差し込みプラグ(電源コード)を電源から外して下さい。

- ・鋸刃交換用のレバーを押さえた状態で丸鋸刃が固定されるまで、ゆっくりと丸鋸刃を手で回転させて下さい。
- ・附属品のボックススパナで六角ボルトをゆるめます。
- ・六角ボルト、外フランジ、丸鋸刃の順で取外します。
- ・取付けは取外しの逆要領で行って下さい。

●保守と点検 ※詳しくは丸鋸本体の取扱説明書をご覧下さい。

- ・カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは全長の1/3(線の位置)程度に摩耗しましたら、新しいカーボンブラシと交換して下さい。
短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますと、火花が大きくなりモーター焼損の原因となる場合があります。
- ・カーボンブラシ交換はブラシキャップをマイナスドライバーで取り外せば、簡単に取り出せます。

この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、
厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、
その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮な
くお買上げの販売店、またはリョービパワーツール取
扱販売店もしくは 最寄りのリョービ販売 (株) 営業所
にお問い合わせ下さい。

発売元

リョービ販売株式会社 リョービ株式会社